

総合計画後期基本計画における基本施策の数値目標等の達成状況及び自己評価について

令和元年度評価 全76件 (A 21件、B 49件、C 4件、評価なし 2件)

No	基本施策	所管課	目標設定・指標	現状値 (26年度)	目標設定の考え方	対象 年度	28年度	中間値 (30年度)	最新値 (元年度)	目標値 (32年度)	最新評価 (元年度) ※	評価の理由等
1	多様な生物をはぐむ自然環境の保全と再生	環境共生課	「秦野市地下水総合安全管理計画」において健全な水循環が保たれているかを監視する基準井戸の地下水位(年間)	122m	盆地のほぼ中央に位置する観測井(監視基準点)の地下水位が地表から-10m(警戒水位標高117m)になると、南地区から地下水が自噴しなくなります。	目標値	122m	122m	122m	122m	A	はだの水循環モデルの更新を行うための調査が順調に進んでいるため。
						実績	123m	122m	122m			
2	地球温暖化対策の推進	環境共生課	市民一人ひとりの、環境保全や温暖化対策への理解を深めるための普及・啓発活動(年間)	44回	エコスクールなど学校や地域で実践的な環境教育・学習の場を作るとともに、実践活動や講師などとして派遣できる人材の育成を目指します。	目標値	45回	50回	55回	60回	A	数値目標を達成しているため(140%)
						実績	85回	80回	77回			
3	きれいで快適な生活環境の確保	生活環境課	環境基準に定める河川の環境として望ましい水質の達成率(年間)	82%	生活環境の目安となる河川水質の向上を目指し、市内6河川で、河川水質汚濁の防止指導を通じて、段階的に河川的生活環境に係る環境基準の達成を目指します。	目標値	82%	88%	91%	94%	B	数値目標の達成度は91%であるが、7地点で大腸菌群を除き環境基準を下回っているため。
						実績	83%	83%	83%			
4	きれいで快適な生活環境の確保	環境資源対策課	不法投棄物の撤去量(年間)	17t	不法投棄を防止するため、早期及び定期撤去を行い、環境保全を図ります。	目標値	16t	15t	15t	14t	A	数値目標を達成しているため(115%)
						実績	19t	14t	13t			
5	ごみの減量と資源化の推進	環境資源対策課	市民一人1日当たりのごみの排出量(資源物を除く)(年間)	689.0g	市民生活や産業活動から排出されるごみを抑制し、再利用・資源化を促進することにより、燃やさずに循環させるまちの形成を目指します。	目標値		588.8g		581.0g	B	平成32年度の目標値に向けて、排出量の減量が順調に進んでいるため。
						実績	696.5g	652.7g	613.4g			
6	ごみの減量と資源化の推進	環境資源対策課	総ごみ排出量に占める資源化率(年間)	24.50%	資源化品目の見直しや分別ルール徹底により、資源化の促進を目指します。	目標値	26.30%	26.70%	28.60%	28.60%	A	数値目標を達成しているため(103%)
						実績	21.10%	23.60%	29.50%			
7	人に優しい安全で快適な道路づくりの推進	道路整備課	秦野サービスエリア(仮称)周辺道路の整備率	0%	秦野サービスエリア(仮称)スマートインターチェンジアクセス道路等の整備を行い、周辺地域における安全性、利便性の向上を図ります。	目標値	10%	54%	92%	100%	B	埋蔵文化財の発掘作業に時間を要しており、その影響で秦野SA工事に遅れが生じているが、アクセス道路の工事については、概ね予定どおり進んでいるため。
						実績	10%	46%	51%			
8	市街地の再生と都市機能の集約に向けた基盤整備の推進	都市整備課	秦野駅南口、鶴巻温泉駅南口周辺における都市基盤の整備面積	0.37ha	コンパクトなまちづくりに向けて、利便性の高い都市基盤を整備します。	目標値	3.44ha	4.10ha	4.51ha	4.92ha	B	鶴巻温泉駅南口は整備が完了したが、秦野駅南口については、移転交渉が難航しているため。
						実績	3.44ha	3.70ha	3.70ha			
9	地域を結ぶ公共交通ネットワークの維持・確保	交通住宅課	乗合タクシーの運行経費に対する事業収入の割合(年間)	57.90%	乗合タクシー事業全体で効率的な経営を行うことにより、民間事業者の自主財源比率の向上を目指します。	目標値	58.90%	59.90%	60.40%	61.00%	B	新規利用者を見込んだ停留所の新設やダイヤ改正実施など利用促進を図った結果、一定の効果があつたため。
						実績	50.7%	50.4%	44.6%			
10	地域に愛される公園や緑地の整備	公園課	公園美化ボランティア(公園里親制度)の団体数	46団体	都市公園等の美化を促進するため、市民等のボランティアによる美化活動を支援し、市民等と本市が協力して、きれいな公共空間を創出する公園等を増やすことを目指します。	目標値	50団体	54団体	56団体	58団体	B	高齢化等の理由により活動中止団体が増えた一方、団体登録促進の結果、5団体が増加したとともに、新たにカルチャーパーク・バラ園でのボランティア登録制度を開始したため。
						実績	51団体	47団体	48団体			
11	安全でおいしい水の安定供給	経営総務課	基幹管路(導水管・送水管)が耐震化された割合	29.50%	(耐震適合性のある基幹管路の延長/基幹管路の総延長)×100基幹管路(導水・送水管)について、優先的に耐震化を進め、全国平均に近づける事を目標とします。	目標値	33.20%	38.40%	37.10%	40.00%	B	全国平均と比べると耐震化が遅れているが、数値目標は達成しているため。 ※H30年度に数値目標見直しを実施
						実績	31.8%	34.0%	40.0%			
12	健全で安全な下水道の推進と河川・水路の整備	下水道施設課	公共下水道処理区内において公共下水道に接続した人口の割合(水洗化率)	90.00%	下水道に接続した人口(水洗化人口)の下水道に接続できる地域の人口(処理区域内人口)に占める割合が、平成32年度に94.8%になることを目指します。	目標値	91.30%	93.60%	94.00%	94.80%	C	水洗化目標件数625件に対して実績187件(達成率29.9%)であるため。
						実績	89.7%	90.1%	91.0%			
13	妊娠・出産期から親子の成長への切れ目ない支援の推進	こども家庭支援課	出産前後の子育て教室に参加する家族の人数	349人	妊娠中の家族と子育て中の家族の交流機会を設けることで、妊娠中の方は、子育ての具体的なイメージができ、子育て中の方は、自らの経験を話すことで自信につながるという相乗効果が生まれるため、子育て教室に参加する家族の人数の増加を目指します。	目標値	375人	425人	450人	475人	B	妊娠から出産、子育てまでの切れ目ない支援となる事業について、年々拡充に努めており、平成30年度の試行実施を踏まえて、市直営の産後ケア事業に着手できたため。
						実績	396人	273人	297人			

No	基本施策	所管課	目標設定・指標	現状値 (26年度)	目標設定の考え方	対象 年度	28年度	中間値 (30年度)	最新値 (元年度)	目標値 (32年度)	最新評価 (元年度) ※	評価の理由等
14	妊娠・出産期から親子の成長への切れ目ない支援の推進	こども家庭支援課	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合(1歳6か月児健康診査時調査)	84.60%	労働省の「健やか親子21」における同指標に対する実績(平成25年度全国平均68.5%)を上回る数値のさらなる向上を目指します。	目標値	86.00%	87.00%	88.00%	88.00%	B	高い受診率を維持するとともに、専門職の定着に向けた取組みにも着手したため。
						実績	85.40%	84.70%	86.40%			
15	安心して子育てできる環境づくりの拡充	保育こども園課	定員超過により、認可保育所等に入所できない児童の数(4月1日時点)	8人	女性の就業機会の増加や核家族化が進む中、仕事と子育てを両立し、安心して子育てができる環境づくりにより待機児童0人を目指します。	目標値	0人	0人	0人	0人	B	各種事業の拡大・拡充は順調に進んでいるが、待機児童を解消するまでには至っていないため。
						実績	0人	7人	9人			
16	家庭・地域ではぐくむ子どもの健全育成	こども育成課	自然・社会体験学習等参加者数	491人	集団活動、交流事業、自然・社会体験学習等の充実・拡充を図ることにより、参加者数の増加を目指します。	目標値	500人	520人	550人	600人	B	数値目標をほぼ達成しており、新たな内容を取り入れた様々な事業が実施できているため。
						実績	645人	496人	540人			
17	家庭・地域ではぐくむ子どもの健全育成	こども育成課	表丹沢野外活動センター利用者数(年間)	23,251人	青少年が、自らの発想で遊び、体を動かすことができる「森林遊び場」を新たに整備することにより、利用者数の増加を目指します。	目標値	25,000人	27,000人	27,000人	28,000人	C	風呂棟開放は好評であるが、年間利用者数が目標数値に達していないため。
						実績	20,915人	18,691人	11,266人			
18	助けあう地域福祉の充実	地域共生推進課	秦野市社会福祉協議会へ登録したボランティア団体数	107団体	超高齢社会が到来する中で、地域福祉活動やボランティア活動などに携わる福祉の担い手の育成を図り、地域での支え合い、助け合いの輪を広げることで、誰もが地域で安心して生活できるまちを目指します。	目標値	107団体	115団体	120団体	125団体	B	地域住民や関係機関と連携・協働し秦野市地域福祉計画等の着実な推進及び市民への分かりやすく利用しやすい情報提供に努めたため。
						実績	107団体	110団体	107団体			
19	安心して暮らし続けられる高齢者等への支援	高齢介護課	要介護等認定率	13.80%	「第6期秦野市高齢者保健福祉・介護保険事業計画」の策定時に推計した平成32年度の要介護認定率は16.1%ですが、介護予防施策の推進により、15.8%に抑えることを目指します。	目標値	14.00%	15.00%	15.40%	15.80%	B	数値目標は達成しているが、高齢者支援センターのさらなる機能強化が必要であるため。
						実績	13.20%	13.76%	14.10%			
20	自律した生活を支援する障害者福祉の充実	障害福祉課	本市援護実施者で市内外のグループホームの入居者数	133人	「秦野市障害福祉計画(第4期)」から毎年、3か所のグループホーム整備を助成し、毎年4人の本市援護実施者の入居増を目指します。	目標値	141人	149人	153人	157人	A	数値目標を達成しているため(127%)
						実績	158人	195人	195人			
21	安定した暮らしを確保する生活困窮者及び住宅困窮者への支援	生活支援課	就労による被保護世帯の経済的自立世帯数(年間)	30世帯	生活保護法の目的が最低生活の保障とともに被保護世帯に対する自立の助長であるため、就労支援策等により、現状値を上回る毎年40世帯の経済的自立を目指します。	目標値	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	C	就労者数は前年度と比べ増加(47人⇒61人)したものの、就労廃止世帯数が減少したため。
						実績	34世帯	37世帯	19世帯			
22	健康づくりの推進	健康づくり課	女性特有のガン(乳がんは40～69歳、子宮頸がんは20～69歳)の検診受診率	33.00%	全国的に検診受診率が低く、国においても積極的に事業展開を推進していることから、国が定めた受診率50%を目指します。(乳がんは40～69歳、子宮頸がんは20～69歳の隔年の受診率)	目標値	38.00%	50%	50%	50%	B	レディスデーでは、乳がんと子宮頸がん検診を女性医師が担当し、さらに他のがん検診(集団)も同時受診できるように工夫し推進を図った。また、併せて骨密度測定会を実施し、骨粗しょう症のリスクの高い女性への啓発を行ったため。
						実績	12.90%	12.40%	12.30%			
23	健康づくりの推進	健康づくり課	体操会(ご近所体操会、丹沢あおぞら体操会等)の参加者数	1,384人	健康づくりを増進するため、体操を行う市民を増やすことを目指します。	目標値	1,400人	1,450人	1,450人	1,500人	B	新型コロナウイルス感染症の影響により体操会を休止したため参加者数が減少したが、地域で健康づくりを普及する場が広がっているため。
						実績	1,054人	792人	660人			
24	スポーツ・レクリエーション施策の推進	スポーツ推進課	「週1回30分以上スポーツ・レクリエーション活動をする市民」の割合	33.60%	市民がスポーツに親しめる環境づくりに努め、週1日30分以上スポーツ・レクリエーション活動をする市民の割合を半数以上に増やすことを目指します。	目標値	39.00%	45.00%	48.00%	50.00%	B	東京オリンピック・パラリンピックに向けた事業やスポーツライミングに関連した事業が概ね順調に進んでいるため。
						実績	34.10%	56.70%	42.90%			
25	楽しみ学ぶ食育の推進	こども家庭支援課	朝食を食べない3歳6か月児の割合	3.60%	朝食の有無は、生活リズムとの関係が深く、子どもの発育発達に大きな影響を及ぼすため、欠食をなくすことが目標です。その対策である早寝、早起き、朝ごはん運動をはじめとする食育活動は、その効果がすぐには現れづらいため、地道な普及啓発活動が必要です。	目標値	3.0%	2.0%	1.0%	0%	B	事業の拡充を図り、食育の取り組みを強化できたため。
						実績	3.0%	2.8%	3.6%			
26	楽しみ学ぶ食育の推進	学校教育課	学校給食における地場産物を使用する割合	31.50%	より安全・安心な地場産野菜を定期的、安定的に利用し、子どもたちの食への関心を高めるため、学校給食において地産地消を推進し、1%でも多く地場産物を提供することを目指します。	目標値	33.00%	33.00%	33.00%	33.00%	B	数値目標をほぼ達成しているため(93%)
						実績	28.60%	31.60%	30.70%			

No	基本施策	所管課	目標設定・指標	現状値 (26年度)	目標設定の考え方	対象 年度	28年度	中間値 (30年度)	最新値 (元年度)	目標値 (32年度)	最新評価 (元年度) ※	評価の理由等
27	地域医療体制の充実	健康づくり課	助産師、看護師、准看護師の人数(神奈川県衛生統計年報)	1,019人	これまでの伸び幅の実績を参考に、看護師の不足状況や今後の医療機関等の整備計画等を見込んで、必要な看護職員の確保を目指します。	目標値	1,100人	1,125人	1,125人	1,150人	(評価なし)	令和元年度分の神奈川県衛生統計年報については、現在集計中。
						実績	990人	1,169人	集計中			
28		健康づくり課	かかりつけ医を持っている人の割合	68.00%	市民が安心して身近なところで医療を受けられる体制づくりを推進します。	目標値	72.0%	76.0%	78.0%	80.0%	B	数値目標を概ね達成しているため(88%)
						実績	64.0%	60%	69%			
29	医療保険の健全運営	国保年金課	国民健康保険税徴収率(現年度課税分)	91.17%	納税者間の公平性を確保するため、徴収率向上を目指します。	目標値		91.25%	91.27%	91.29%	B	現年度分及び過年度分とも、前年同時期の徴収率を下回ったが、従来の取組みに加えSMS催告の実施を開始したため。
						実績	91.40%	91.60%	90.98%			
30		国保年金課	国民健康保険税徴収率(過年度課税分)	16.04%		目標値		16.45%	16.47%	16.49%	B	
						実績	15.37%	17.31%	15.09%			
31	介護保険の健全運営	高齢介護課	介護保険料徴収率	98.70%	「第6期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」で設定した目標値を基本とし、市民が互いに支えあう介護保険制度への理解を深めてもらうことにより、保険料の確実な徴収に努めます。	目標値		98.80%	98.80%	98.80%	B	数値目標をほぼ達成しているため(99%)
						実績	97.40%	97.70%	98.00%			
32	災害や危機への備えの充実	防災課	総合防災訓練等の子どもの参加者数(年間)	1,522人	総合防災訓練のほか各種防災訓練への子どもの参加者数を増やしていくことで、子どもたちの防災意識をはぐみ、地域防災力の底上げを図ります。	目標値		1,650人		1,700人	A	防災講習会のほか、令和元年度から幼児防災教育を実施し、あらゆる世代で災害時に適切な行動が取れるよう、防災意識の高揚に努めることができたため。
						実績	1,292人	1,050人	1,971人			
33		防災課	防災講演会等の参加者数(年間)	4,871人	自治会や自主防災会などを対象に、防災に関する講演会、講習会、研修会を開催し、地域住民の参加者数を増やしていくことで、市民の防災意識の高揚に努め、地域防災力の向上を図ります。	目標値		5,500人	5,700人	5,850人	A	
						実績	3,920人	2,571人	3,749人			
34	暮らしの安心を支える消防・救急体制の充実	消防管理課	救命講習受講者率(市民17万人あたりの受講者数)	20.80%	誰もが尊い命を救える環境の整備に取り組み、3人に1人の割合で、概ね一家に1人の受講者数を目指します。	目標値	24.30%	27.80%	29.60%	31.30%	A	数値目標を達成しているため(105%)
						実績	24.90%	28.70%	31.20%			
35	地域の交通安全・防犯対策の充実	地域安全課	秦野警察署管内交通事故件数(年間)	416件	市民ひとりの交通安全意識を高めることで、交通事故発生件数の抑制を図ります。	目標値	410件	400件	395件	390件	B	交通事故件数について、前年から△61件と大幅に減少することが出来た反面、死者数については、前年から1名増加した2名となったため。
						実績	406件	421件	360件			
36		地域安全課	秦野警察署管内刑法犯認知件数(年間)	1,211件	市民の防犯意識の向上を図り、犯罪の未然防止に努めることで、年間の刑法犯認知件数の削減を目指します。	目標値	1,200件	1,100件	1,050件	1,000件	A	前年度と比較して「市内刑法犯罪認知件数」、「特殊詐欺等の被害件数」ともに減少したため。
						実績	761件	740件	650件			
37	安心できる消費生活の支援、市民相談の充実	市民相談人権課	学校、家庭、地域など、さまざまな機会での消費者教室や講座などが受講できる件数(年間)	27件	消費者トラブル発生の未然防止、減少のために、学習の機会を広く提供し、社会変化や年代層に応じた消費者教育の場を増やすことを目指します。	目標値	33件	39件	42件	45件	B	新型コロナウイルス感染防止のために中止になった講座もあるが、概ねの啓発活動が実施できたため。
						実績	26件	39件	39件			
38	企業誘致と創造的な企業活動への支援	産業振興課	工業統計調査における、従業員4人以上の事業所の1年間の製造品出荷額等(年間)	4,402億円	製造出荷額等は減少傾向にありますが、中小企業の経営基盤の強化を図る等により市内工業の活性化を持続させるため、現状値と同額以上を目指します。	目標値	4,402億円	4,402億円	4,402億円	4,402億円	A	数値目標を達成しているため(136%)
						実績	4,353億円	5,844億円	5,985億円			
39	雇用、就労への支援	産業振興課	「秦野市ふるさとハローワーク」における職業紹介件数に対する就職件数の割合(年間)	18%	ハローワークとの連携により就業機会を確保し、平成22年度から26年度までの5年間での増と同様の毎年度1ポイント以上の増、30年度以降は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた雇用情勢の好転分1ポイントを加えた、2ポイント以上の増を目指します。	目標値	20%	23%	25%	27%	B	カウンセリング事業の受講者数は順調に増加しており、数値目標もほぼ達成しているため(96%)
						実績	19%	22%	24%			

No	基本施策	所管課	目標設定・指標	現状値 (26年度)	目標設定の考え方	対象 年度	28年度	中間値 (30年度)	最新値 (元年度)	目標値 (32年度)	最新評価 (元年度) ※	評価の理由等
40	意欲の持てる商業経営への支援	産業振興課	商連に加盟している商店会の店舗数(年間)	745店	過去5年間で会員数が91店舗減少していることから、さらなる商店街の空洞化や空き店舗化を防止するため、商店会未加入店舗や新規店舗に加盟を促し、現状値の会員数を維持します。	目標値	745店	745店	745店	745店	A	数値目標は86%の達成であるが、審査会方式導入(平成21年度)以降の新規店舗は、28店舗が継続営業(令和2年3月末日時点)しており、商店街に加盟することでにぎわいづくりに貢献しているため。
						実績	706店	674店	642店			
41	人にやさしくにぎわいのある商店街づくりへの支援	産業振興課	経済センサス活動調査における小売業の商品販売額(年間)	1,128億円	平成19年から平成24年までの5年間で、小売業年間商品販売額は21.98%下落しており、商店会の会員数も減少していますが、商業環境の整備等に対する支援による景気の回復を想定し、現状値と同額以上を目指します。	目標値		1,129億円		1,130億円	(評価なし)	経済センサス活動調査については、4年に1度の調査であるため。
						実績	1,268億円	-	-			
42	観光資源の魅力の向上と活用	観光振興課	県観光振興対策協議会が統計処理している観光客数(年間)	206万7千人	地域資源を生かした観光振興策を進め、日帰りを中心とした観光客の増加を目指します。	目標値		225万9千人		235万人	A	計画最終年度の数値目標を達成しているため。
						実績	259万3千人	379万2千人	447万2千人			
43	観光資源の魅力の向上と活用	観光振興課	県観光振興対策協議会が統計処理している観光客の消費総額(年間)	9億2710万9千円	地域資源を生かした観光振興策を進め、観光客一人当たりの消費額の増加を目指します。	目標値		10億353万3千円		10億4407万5千円	A	計画最終年度の数値目標を達成しているため。
						実績	13億8656万4千円	51億9687万1千円	59億1874万2千円			
44	協働と連携による観光振興の充実	観光振興課	観光協会に登録した観光ボランティアの人数	32人	観光によるまちおこしに意欲のある市民ボランティアを、観光宣伝や観光案内を牽引する立場として発掘・育成し、その登録数の増加を目指します。	目標値	50人	55人	55人	60人	B	数値目標は78%の達成であり、各事業が概ね順調に進んでいるため。
						実績	49人	45人	43人			
45	農業経営の安定化と農地保全	農業振興課	認定農業者(※1)の経営改善計画(※2)の達成率	62%	認定農業者の経営改善計画の達成状況等を定期的に把握するため、その達成率を市の農業振興の度合いを図る目安とします。	目標値	64%	66%	67%	68%	A	数値目標を達成しているため(117%)
						実績	82%	75%	80%			
46	地産地消及び交流型農業の推進	農業振興課	地産地消サポーター(※1)協力店数	32店	地産地消の普及・定着を推進するため、秦野産農産物の生産振興や消費拡大に活動する協力店の増加を目指します。	目標値	33店	36店	37店	38店	A	数値目標を達成しているため(131%)
						実績	32店	42店	47店			
47	水源の森林(もり)づくりの促進	環境共生課	水源の森林エリア(※1)における森林整備(奥山を除く)面積	42ha	計画的な森林整備を進めるために一定の整備量を保ちながら実施します。	目標値		50ha	50ha	50ha	B	数値目標をほぼ達成しているため(97%)
						実績	31.4ha	22.8ha	48.7ha			
48	里山林の保全・活用	環境共生課	植樹祭、下草刈、県民参加の森林づくりなど森林整備事業への市民参加数	900人	ボランティア活動等において生じてきた課題を克服するため、市民に里地里山を積極的に取り入れた生活様式を提案し、ライフスタイルとして確立を目指します。	目標値		1,000人	1,000人	1,050人	B	数値目標をほぼ達成しているため(94%)
						実績	621人	564人	937人			
49	生きる力をはぐくむ教育の推進	教育指導課 教育研究所	授業がわかると回答した割合(全国学力学習状況調査)	71%	学力の定着・向上には、児童生徒にとってわかる授業を提供することが第一であることから、小中学校の授業改善に努めます。	目標値	75%	75%	80%	80%	B	数値目標をほぼ達成しているため(98%)
						実績	74%	74%	78%			
50	生きる力をはぐくむ教育の推進	教育指導課 教育研究所	認知したいじめの年度内における改善率	98%	いじめを認知した件数のうち、年度内に「いじめが解消している」と「一定の解消が図られたが、継続支援中」のものを合わせた件数が占める割合である「いじめの改善率」100%を目指して未然防止・早期発見・早期対応に努めます。	目標値	100%	100%	100%	100%	B	数値目標をほぼ達成しているため(99%)
						実績	100%	90%	99%			
51	地域・家庭と一体となった学校づくりの推進	教育指導課 教育研究所	子どもの豊かな学びや育ちを支える学校支援ボランティアの協力者数(年間)	2,122人	「コミュニティ・スクール」など学校の教育活動への支援を地域全体で取り組みます。その取組みの中で地域支援者数を増やし、支援者、子どもが共に学び育ち合う関係づくりに努めます。	目標値	2,200人	2,300人	2,350人	2,400人	B	学校運営協議会について、中学校区毎の設置等、R4年度までの市内全校設置に向けて取組が進んだため。
						実績	2,506人	1,845人	1,928人			
52	地域・家庭と一体となった学校づくりの推進	教育研究所	はだのっ子アワード表彰児童生徒数(平成19年度からの累計人数)	303人	多くの子どもたちがふるさと秦野について知り、自然環境や地域環境を大切に愛する心をはぐくむ目的で取り組む「はだのっ子アワード事業」に参加できるよう十分に周知を図ります。	目標値	365人	445人	480人	530人	B	はだのっ子アワードでは、新たな取組として、事業の目的や主旨を説明する機会を設けるとともに、エコキッズはだのっ子では、SDGsを意識した取組を実施したため。
						実績	403人	503人	539人			

No	基本施策	所管課	目標設定・指標	現状値 (26年度)	目標設定の考え方	対象 年度	28年度	中間値 (30年度)	最新値 (元年度)	目標値 (32年度)	最新評価 (元年度) ※	評価の理由等
53	安全・安心で快適な教育環境づくりの推進	学校教育課	タブレット型パソコンの導入台数	3台	タブレット型のパソコンを導入し、パソコン教室だけでなく、普通教室等でさまざまな教科に利用できる環境整備を進めます。	目標値	72台	565台	942台	943台	A	数値目標を達成しており、学校司書の配置についても拡充し、小学校に週3日配置することができたため。
						実績	73台	951台	1,024台			
54	生涯学習活動の推進	生涯学習課	公民館自主事業参加者数(年間)	55,389人	市民の充実した生涯学習の支援を図ります。	目標値	55,500人	56,000人	56,500人	57,000人	B	新型コロナウイルス感染症の拡大により、自主事業の中止及び参加者数が減少したが、数値目標を概ね達成しているため(87%)
						実績	55,505人	55,521人	49,164人			
55	生涯学習活動の推進	生涯学習課	ふるさと講座実施回数(年間)	6回	地域資源や人材により、講座内容及び回数の充実を図ります。	目標値	8回	8回	8回	10回	B	新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止となった事業もあるが、数値目標を概ね達成しているため(88%)
						実績	7回	8回	7回			
56	生涯学習環境づくりの推進	図書館	図書館資料の予約受付件数(年間)	113,296件	インターネットを利用した図書の予約・公民館等での受け取りのサービスの拡充を進め、利用促進を図ります。	目標値	113,600件	114,000件	114,200件	114,400件	A	数値目標を達成しているため(100%)
						実績	119,657件	104,398件	114,418件			
57	市民文化活動の充実	生涯学習課	公民館利用者数(年間)	505,848人	利用環境の向上を推進し、利用者数の増加を目指します。	目標値	507,500人	510,000人	512,500人	515,000人	B	新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者数が大幅に減少したが、来館者が安全で快適に利用できるよう計画的な更新や改修を実施したため。
						実績	507,232人	491,824人	431,494人			
58	郷土の伝統文化の伝承と文化財の保存・活用	図書館	図書館入館者数(年間)	261,447人	施設の長寿命化修繕計画に基づき、設備の計画的な改修を進め、入館者数の増加を目指します。	目標値	262,200人	262,200人	262,200人	262,600人	B	新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者数が大幅に減少したが、来館者が安全で快適に利用できるよう計画的な更新や改修を実施したため。
						実績	259,609人	236,494人	219,888人			
59	市民文化活動の充実	文化振興課	市展来場者数(年間)	3,960人	学習活動により得た知識や技術の成果を発表する機会の充実を図ります。	目標値	4,060人	4,060人	4,060人	4,160人	B	数値目標を概ね達成しているため(79%)
						実績	3,219人	3,424人	3,198人			
60	郷土の伝統文化の伝承と文化財の保存・活用	文化振興課	文化会館利用者数(年間)	197,300人	景気の低迷が続く中で、文化教養等にかかる個人消費の抑制から入場者等の減少が見込まれますが、魅力ある公演の実施や施設利用環境等の整備により利用者数の増加を目指します。	目標値	220,000人	220,000人	220,000人	225,000人	B	新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者数が大幅に減少したが、来館者が安全で快適に利用できるよう計画的な更新や改修を実施したため。
						実績	206,097人	221,418人	187,686人			
61	地域づくりとコミュニティの活性化	生涯学習課	特別展の入場者数(年間)	13,504人	常設展示に加え、さまざまなテーマで特別展を開催することで、市民の文化財に対する意識の高揚を図ります。	目標値	13,800人	13,800人	13,800人	14,100人	B	実施計画に掲げた各事業について、一層の充実を図る中で予定どおり実施したため。
						実績	14,480人	31,875人	14,138人			
62	地域づくりとコミュニティの活性化	生涯学習課	桜土手古墳展示館入館者数(年間)	24,185人	歴史や文化を通じ秦野を再発見できるよう展示方法の充実を図ります。	目標値	25,390人	25,390人	25,390人	26,600人	B	桜土手古墳展示館入館者数については、既に中間目標を達成しており、桜土手古墳展示館の総合的な歴史資料館への移行についても順調に進んだため。
						実績	28,941人	32,332人	26,863人			
63	情報共有化とシティプロモーションの推進	広報広聴課	市ホームページのアクセス件数(年間)	679万件	分かりやすく興味を引く内容・展開を常に研究し、よりアクセスしやすいホームページとすることで、市民との情報共有や市のPRにつなげます。	目標値	707万件	735万件	750万件	765万件	A	令和2年2月にホームページのトップページをリニューアルし、閲覧性や検索性の向上を図ったことなどにより、アクセス数も計画を上回るペースで増えているため。
						実績	600万件	674万件	797万件			
64	地域づくりとコミュニティの活性化	市民活動支援課	地区まちづくり委員会が行う地域独自のまちづくり特別事業申請件数(年間)	5件	地域における信頼関係や共同体意識が希薄化する中で、地域住民が独自に企画し、実施するコミュニティの活性化につながる事業(特別事業)の展開を促進し、申請件数の増加を目指します。	目標値	7件	7件	7件	8件	A	特別事業交付金の実績は、前年度と同じであるが、まちづくりの活性化に係る支援を引き続き展開できたため。
						実績	7件	4件	4件			
65	地域づくりとコミュニティの活性化	市民活動支援課	自治会の法人化数	68団体	法人化の推進により、自治会の組織力強化や透明で安定した自治会活動の持続を図るため、法人化数の増加を目指します。	目標値	90団体	90団体	90団体	92団体	A	平成28年度時点で、平成32年度の数値目標を達成しているため。令和元年度に目標値を見直し。
						実績	86団体	91団体	98団体			

No	基本施策	所管課	目標設定・指標	現状値 (26年度)	目標設定の考え方	対象 年度	28年度	中間値 (30年度)	最新値 (元年度)	目標値 (32年度)	最新評価 (元年度) ※	評価の理由等
66	多様な担い手による協働の推進	市民活動支援課	県の設立認証を受けた市内で活動するNPO法人数	41法人	地域力を生かした協働事業の促進を図るため、過去5年間のNPO法人の認証実績を踏まえ、法人数の増加を目指します。	目標値	43法人	45法人	46法人	47法人	B	認証NPO法人数が前年度より微減し、提案型協働事業の申請件数が減少しているため。
						実績	46法人	44法人	43法人			
67		市民活動支援課	はだの市民活動団体連絡協議会加盟団体数	68団体	市民力を生かした協働事業の促進を図るため、市民活動の活性化及びボランティアのすそ野の拡大を図る必要から、加盟団体数の増加を目指します。	目標値		76団体	76団体	80団体	B	会員の高齢化等により活動停止団体が増加し、加盟団体数が目標値に対し大きく乖離しているが、サポート事業については、申請団体が増加しているため。
						実績	60団体	55団体	54団体			
68	人権の尊重	市民相談人権課	ほうらい会館・ほうらい児童館の利用者数(年間)	18,000人	近隣地域との連携や活性化を推進するため、イベントの回数の増加や充実を図り、利用者数の増加を目指します。	目標値	18,800人	18,900人	18,950人	19,000人	B	各種の自主事業等が予定通り進んでいるが、今後も継続的に実施していく必要があるため。
						実績	16,100人	14,905人	10,842人			
69		市民相談人権課	学校、地域及び職場における人権に関する講演会等への参加者数(年間)	17,000人	市民一人ひとりの人権意識が高まり、差別や偏見のない、住みよい社会が構築されるよう人権啓発等の推進に努め、参加者数の増加を目指します。	目標値	17,200人	17,600人	17,800人	18,000人	B	各種の啓発活動等が予定通り進んでいるが、今後も継続的に実施していく必要があるため。
						実績	18,370人	19,732人	19,579人			
70	男女共同参画社会づくりの推進	市民相談人権課	「習慣等において男女平等」という考え方に同感する人の割合	23%	定期的実施している男女共同参画に関するアンケートの結果を踏まえ、男女共同参画プランの施策の展開により、「習慣等において男女平等」という考え方に賛同する人の割合の増加を目指します。	目標値		42%	44%	46%	C	各種の啓発活動等が予定通り進んでいるが、今後も継続的に実施していく必要があるため。
						実績	-	9%	10%			
71		市民相談人権課	「男は仕事、女は家庭」という考え方を否定する人の割合	57%	定期的実施している男女共同参画に関するアンケートの結果を踏まえ、男女共同参画プランの施策の展開により、「男は仕事、女は家庭」という考え方を否定する人の割合の増加を目指します。	目標値		66%	68%	70%	B	各種の啓発活動等が予定通り進んでいるため。
						実績	-	62%	63%			
72	恒久平和の実現	文化振興課	「平和の日事業」の参加人数	1,800人	平和啓発事業への参加を促し、市民の平和意識の高揚に努めることにより、参加者数の増加を目指します。	目標値		3,000人	3,100人	3,200人	B	親子ひろしま訪問団など平和事業を順調に進めることができたため。
						実績	2,410人	2,900人	2,394人			
73		文化振興課	各種国際理解・交流事業の参加人数(年間)	350人	国際交流・理解促進事業への参加を促し、国際性豊かな市民意識の醸成を図ることにより、参加者数の増加を目指します。	目標値		380人		400人	B	各種国際理解・交流事業を順調に進めることができたため。
						実績	375人	425人	370人			
74	適正で安心な行政の推進	情報システム課	セキュリティ事故の発生数(年間)	0件	電子機器のセキュリティ対策機能の充実と職員への継続的なセキュリティ研修を実施し、今後も事故が発生しないように努めます。	目標値		0件	0件	0件	B	職員研修や手順書の作成など情報セキュリティレベルの向上に向けた取組が順調に進んでいるため。
						実績		12件	12件			
75	健全で着実な財政運営	財政課	標準財政規模に対する実質収支の割合	8.10%	実質収支比率は、一般的には3～5%が望ましいといわれており、本市の実績を考慮しても、5.0%(約15億円)以上の実質収支比率を毎年度確保する必要があります。	目標値	5.00%	5.00%	5.00%	5.00%	B	法人市民税や地方消費税交付金などの歳入が見込みを下回った結果3.3%となったものの、実質単年度収支が前年度から140,856千円改善したため。
						実績	5.50%	6.10%	3.30%			
76	他自治体との広域連携・協力の推進	総合政策課	他市町村の公共施設をその住民と同等の条件により利用できる施設数	55施設	近隣自治体との広域連携組織の活動を通して、他市町村との連携を強化し、同等条件で利用できる施設数の増加を目指します。	目標値	55施設	65施設	65施設	65施設	A	数値目標を達成しているため(122%)
						実績	55施設	79施設	79施設			

※ 評価については、次の「基準」を目安に総合的に評価

数値目標等の達成状況が100%以上 → A評価、
数値目標等の達成状況が75%以上100%未満 → B評価
数値目標等の達成状況が50%以上75%未満 → C評価
数値目標等の達成状況が50%未満 → D評価